

令和6年度 学校評価 西小学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	これからの社会に必要な「考えて行動する力（在りたい未来を創造する力）が育つ、明日も行きたくなる」学校づくりをめざし「心づくり、学びづくり、学校づくり」の3部がそれぞれに具体的な手立てを講じて、学校の教育目標「かんがえて、どんどん、のびよう」の達成に向けて取り組む。
本年度の重点目標	児童、教職員、保護者、地域住民が、「明日も行きたくなる」学校づくりに取り組むことで、考えて行動する子が育つ学校をめざす

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	学校経営 生徒指導 保護者・地域 住民との連携	保護者・地域・学校が目標共有し「明日も行きたくなる学校づくり」をめざす	A	・80%の児童、91%の保護者が「明日も行きたくなる学校」について肯定的な回答をした。行事等を通して子ども、保護者、地域に周知を広めた。 →具体的な活動を通して伝える。
教育課程	指導方法の工夫改善	「“知りたい” “やってみたい”を生かす単元づくり」を通じて自律的な学びづくりをめざす	A	・細見池や古代米など地域教材をテーマに学習に取り組んだ。学習のゴールを子どもと共有することで、見通しを持った学習に取り組むことができた。 →自律した姿を明確にして共有する。
課題教育	特別支援教育 人権教育	安心できる居場所づくりを通じて「互いの違いを認め合う心づくり」をめざす	B	・毎月の「心のチェックシート」で児童の心の様子を把握した。マラソン記録会では、自分で選び、自分で決める力を大切に結果、実行できた。 →自己選択・自己決定を支援する。

3 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学校支援ボランティアの活動や「夏休み令和かどの塾」など、学校運営協議会と連携した活動が、子どもたちが学びを深めている。子どもたちの体験や記憶に残る活動が蓄積されている。 ・マラソン大会のコース選択など、子どもが自己選択、自己決定する場面を大切にしている。さらにこうした機会を増やし、広げることが必要だ。 ・かどのスマイル西っ子隊の活動などを通じて、地域と学校が協働する仕組みが進んでいる。学校と地域との連携が具体的な形になりつつある。地域との連携をさらに深めると良い。
--

4 次年度の改善の方向性

<p>「かどのスマイル西っ子隊」の活動を通じて「明日も行きたくなる学校づくり」を推進し、子どもたちの主体的な関わりを増やしていきます。また、子どもたちの「自律しようとする姿」を共有し、それに向けた手立てを講じることで、主体性を伸ばす環境を整えます。さらに、子どもたちの意見を学校運営に取り入れたり、委ねたりする部分を増やすことで、考えて行動する力が伸びる学校づくりに取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">令和 7年 2月25日 学校名 丹波市立西小学校 校長名 梅垣 泰三</p>
